

九州国立博物館
開館1周年記念
国際シンポジウム

博物館教育の 活性化へむけて

～アジアの博物館教育の現場から～

○ 基調講演「世界的な博物館教育の潮流」

ゲイル・ダービン □
/ 英国 国立ピクトリア & アルバート美術館 教育部副部长

○ 報告「アジアの博物館教育の現場から」

李恩美 (イ・ウンミ) □
/ 大韓民国 国立中央博物館 教育部主任

陳文輝 (タン・ブーン・フィ) □
/ シンガポール 国立歴史博物館 副館長(教育・国際担当)

林柏亭 (リン・バイティン) □
/ 台湾 国立故宮博物院 副院長(教育・学芸担当)

ソムチャーイ・ナ・ナコンパノム □
/ タイ バンコク国立博物館 館長

瓜生郁義 □
/ 九州国立博物館 交流課長

○ パネルディスカッション
「博物館教育の活性化へむけて」

助言者: □ ゲイル・ダービン
/ 英国 国立ピクトリア & アルバート美術館 教育部副部长
司会者: □ 井上洋一
/ 東京国立博物館 事業部教育普及課長
パネリスト: 各報告者

※ 本シンポジウムは同時通訳を行います。



参加費
無料

日時 2006年10月29日(日) 10:00 ~ 17:00

会場 九州国立博物館 ミュージアムホール

福岡県太宰府市石坂4-7-2(太宰府天満宮横)
TEL 0570-008886(八ローダイヤル)
http://www.kyuhaku.jp

定員 300名 事前申込みとなっております

※ 参加者には、九州国立博物館 体験型展示室 あじっばのオリジナルガイドブックを無料進呈。

申込方法 申込者本人の ①郵便番号 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号 ⑥FAX番号
を明記のうえ、ハガキ・ファクス・Eメールのいずれかでお申し込み下さい。先着順で300名様に入場
整理券を郵送いたします。※ 定員になり次第、締め切りますので、早めにお申し込みください。

申込先 国際シンポジウム(博物館教育)事務局
〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-34 住友生命ビル3F (株)西広 内
TEL 092-711-3190 FAX 092-711-3191 Eメール kyuhaku@nishiko.co.jp



九州国立博物館開館1周年記念国際シンポジウム

博物館教育の活性化へむけて

～アジアの博物館教育の現場から～

シンポジウムの開催にあたって

子どもからおとなまで博物館がより多くの人に利用されるように、世界の博物館でさまざまなミュージアム・エデュケーションの取り組みが盛んです。アジア各国の国立博物館でも、学校との連携、親子を対象としたプログラム、おとなを博物館につなぎとめる工夫など、ユニークな活動が繰り広げられています。当国際シンポジウムでは、九州国立博物館と関係が深い各国の博物館からスピーカーをお招きしました。日本を始め、アジア諸国での取り組みに大いに役立つよう期待します。

プログラム

10:00 開会

10:30 基調講演 ● テーマ「世界的な博物館教育の潮流」

講師 ゲイル・ダービン 英国国立ピクトリア & アルバート美術館教育部副部长

イギリスを代表するミュージアム・エデュケーター。V & A(ピクトリア & アルバート美術館)のプリティッシュ・ギャラリーを、参加体験を主体とした展示室に転換し、展示体験の可能性を大きく進化させました。世界中から訪れるミュージアム関係者に影響を与え、こ

の業績に対しヨーロッパの数々の賞を受賞しました。現在はインターネットでV & Aと世界を結び、V & A Onlineの責任者です。美術館を訪れたことがない多くの人が、オンライン上でV & Aの教育プログラムに参加しています。いま、その意欲的な試みが注目されています。



12:00 ~ 13:00 昼食

13:00 報告 ● テーマ「アジアの博物館教育の現場から」

報告 13:00 ~ 13:30 李恩美 (イ・ウンミ) 大韓民国 国立中央博物館 教育部主任

昨年10月に新本館が開館。子どもからおとなまで、年齢層に対応した細かな教育プログラムを展開しています。李さんはおとなと一般向けの教育事業の責任者で、韓国で初めて博物館教育で博士号を取得されました。

報告 13:30 ~ 14:00 陳文輝 (タン・ブーン・フィ) シンガポール 国立歴史博物館 副館長(教育・国際担当)

ショッピングセンター内にサテライト・ミュージアムを設置。学校の課外学習に特化した参加体験型展示室を開発し、人気を博しています。今年12月開館予定の新本館でも、意欲的な試みが展開される予定です。

報告 14:00 ~ 14:30 林柏亭 (リン・バイティン) 台湾 国立故宮博物院 副院長(教育・学芸担当)

世界的に有名な故宮博物院の、積極的な教育事業への取り組みが海外から高く評価されています。林副院長は、台湾南部に建設中の故宮南部分院の陣頭指揮に立ち、ここでも新たな教育事業を準備中です。

報告 14:30 ~ 15:00 ソムチャーイ・ナ・ナコンパノム タイ バンコク国立博物館 館長

タイを代表する国立博物館であり、博物館教育の一環として積極的に学生を受け入れています。バンコクには独立した子ども博物館(チルドレンズ・ミュージアム)もあり、子どもと博物館をつなぐ活動に力を入れています。

報告 15:00 ~ 15:30 瓜生郁義 九州国立博物館 交流課長

国立博物館では初めての、常設の参加体験型展示室「あじっば」を開設しました。博物館と親子をつなぐその活動の活動の理念とプログラムについて、さらに国立博物館のミュージアム・エデュケーションへの取り組みについて報告します。

※ 本シンポジウムは、同時通訳を行います。

15:30 ~ 15:50 休憩

15:50 パネルディスカッション ● テーマ「博物館教育の活性化へむけて」

「アジアの博物館教育の現場から」の報告を受けて、今後の博物館教育の活性化へむけて、意見交換を行います。

助言者 / ゲイル・ダービン(英国 国立ピクトリア & アルバート美術館教育部副部长)
司会者 / 井上洋一(東京国立博物館事業部教育普及課長)
パネリスト / 各報告者

16:50 閉会

FAX
専用

九州国立博物館開館1周年記念国際シンポジウム参加申込用紙

FAX No. 092-711-3191

〒 _____ ()

● 住所 _____ ● 電話番号 _____

(ふりがな) _____ ()

● 氏名 _____ ● 年齢 _____ 歳 ● FAX番号 _____

※ ご記入いただいた個人情報は当シンポジウムの参加受付のみ使用させていただきます。